

電気通信工事業における起因物なしを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	17~18	カメラ改修工事において、手すり付仕切り板を乗り越えて作業を行った。作業終了後、再びその仕切り板を乗り越えようとした時、床に自分が置いた腰道具入れがあった為、それを避けようと不安定な体勢で降りた事により右足首を捻った。	37	—
3	13~14	お客様宅マンション2F廊下にて、高さ約2.5mにあるガスメーターの交換作業をする為、90cm脚立に立って上を向き、パイプレンチでメーターユニオンを水平方向へ締め込めをしている時、首と背中肩甲骨に違和感がありながら作業を続けていたところ、首の痛み・頭痛・めまい・背中肩甲骨痛が生じた。	53	10~29
7	15~16	太陽光発電設置現場に於いて、電気配管を移動し埋設する作業中、持っていたつるはしを振りかぶったとき胸に痛みが走った。	23	10~29
7	10~11	バケット車に搭乗し、電柱上に取り付けてあるPHSアンテナを撤去するため、両手でPHSアンテナを持ち上げようと上部へ押し上げた際、腰部に痛みが走った。	40	50~99
7	12~13	被災者は、現場事務所内にある資材置場で、廃材ケーブルの引取撤去作業に立ち会っていた。引取業者に対して安全指導を行い、作業終了後の打ち合わせを行っていたとき、突然倒れた。	57	10~29
9	21~22	本社内倉庫にて、片づけ・整理作業中、倉庫内に置いてあるケーブルドラム（約300kg）を移動させるため、手で方向転換させようと足に力を入れた際、右ふくらはぎに殴られたような衝撃があった。	45	10~29
		作業終了後、会社倉庫の整理のため、車から材料の入った段ボール箱（約		1

12	17~18	300×400×200、約5kg) を持って歩いていた際、倉庫出入り口付近で誤って躓き転倒し、その際に右足首を捻った。	51	~
				9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html